

(5) 英語

ア 個々の問題の概要及びその通過率

—評価の観点—	
表 現	：外国語表現の能力
理 解	：外国語理解の能力
言・文	：言語や文化についての知識・理解

(◇：「活用」に関する問題)

学習指導要領の内容	問題番号	出題のねらい	活用	評価の観点	設定通過率 (%)	通過率 (%)	
ア 聞くこと (ウ)	1	(1) Whereを用いた疑問文に対して正しく応答することができる。		理 解	60.0	66.7	
		(2) What ～?に対して正しく応答することができる。		理 解	65.0	39.3	
		(3) How many ～?に対して正しく応答することができる。		理 解	60.0	64.1	
ア 聞くこと (ア)(イ)	2	(1) 絵を参考に人や動物の行為や場所を聞き分けることができる。		理 解	70.0	83.5	
		(2) 絵を参考に複数のものの数を聞き分けることができる。	◇	理 解	70.0	78.9	
		(3) 絵を参考に時刻を聞き分けることができる。		理 解	60.0	83.6	
ア 聞くこと (オ)	3	まとまりのある英文を聞いて概要を理解し、適切でない文を指摘することができる。	◇	理 解	65.0	50.2	
エ 書くこと (イ)	4	(1) 適切なbe動詞を用いた文を書くことができる。		言・文	60.0	68.8	
		(2) 三人称・単数・現在形の文を書くことができる。		言・文	50.0	35.8	
		(3) 現在進行形の文を書くことができる。		言・文	75.0	62.9	
		(4) 一般動詞の過去形の否定文を書くことができる。		言・文	50.0	38.3	
		(5) 三人称・単数・現在形の疑問文を書くことができる。		言・文	50.0	40.9	
ウ 読むこと (イ)(ウ)	5	(1) まとまりのある英文を読んで、条件に合う要点を指摘することができる。	◇	理 解	80.0	91.7	
		(2) まとまりのある英文を読んで、代名詞がさす内容を指摘することができる。	◇	理 解	70.0	82.5	
		(3) まとまりのある英文を読んで、条件に合う応答文を指摘することができる。	◇	理 解	60.0	81.4	
		(4)	① まとまりのある英文を読んで、要約文に合う英語を指摘することができる。	◇	理 解	50.0	54.7
			② まとまりのある英文を読んで、要約文に合う英語を指摘することができる。	◇	理 解	60.0	74.3
ウ 読むこと (イ)(ウ)	6	(1) 対話文から必要な情報を読み取り、適切でないものを指摘することができる。	◇	理 解	70.0	68.8	
		(2) 対話文や広告から必要な情報を読み取り、適切な英語を指摘することができる。	◇	理 解	60.0	47.1	
エ 書くこと (ア)(イ)	7	(1) 示された英語を用いて、対話に合うWhat＋名詞の語順の疑問文を書くことができる。		表 現	60.0	45.9	
		(2) 示された英語を用いて、対話に合うWhereを用いた過去進行形の疑問文を書くことができる。		表 現	60.0	74.1	
		(3) 示された英語を用いて、対話に合う命令文を書くことができる。		表 現	60.0	38.6	
ウ 読むこと (イ)(ウ) (エ)	8	(1)	① 対話に合う英文を指摘することができる。	◇	理 解	60.0	73.8
			② 対話に合う英文を指摘することができる。	◇	理 解	60.0	51.9
エ 書くこと (ア)(イ)	9	(2) 文と文の順序や相互の関連を考え、まとまりのある英文を構成することができる。	◇	理 解	50.0	26.6	
		(1) 対話に合うWhat timeを用いた疑問文を書くことができる。	◇	表 現	55.0	51.8	
		(2) 対話に合うWhenを用いた疑問文に対する応答文を書くことができる。	◇	表 現	55.0	13.3	
エ 書くこと (ア)(イ) (エ)	10	(3) 対話に合うWhoseを用いた疑問文を書くことができる。	◇	表 現	55.0	36.0	
		指示・条件に従って、まとまりのある英文を考え、書くことができる。	◇	表 現	30.0	33.3	

イ 個々の問題の教育事務所管内・地区別通過率

問題番号	問題の内容	設定 通過率	東 青 管 内		西 北 管 内						
			青森市	東郡	五所川原市	つがる市	西・北郡				
1	(1)	Whereを用いた疑問文への応答	60.0	69.2	69.5	64.5	65.6	60.0	73.0	67.3	
	(2)	What ～？ に対するの応答	65.0	42.0	42.7	29.7	39.6	34.6	48.7	39.8	
	(3)	How many ～？ に対するの応答	60.0	67.7	68.0	63.0	62.4	56.2	66.5	67.0	
2	(1)	人や動物の行為や場所の聞き分け	70.0	85.3	85.4	84.1	82.7	81.4	87.4	81.2	
	(2)	複数のものの数の聞き分け	70.0	81.3	81.5	78.3	81.2	77.2	83.9	84.2	
	(3)	時刻の聞き分け	60.0	83.6	83.7	81.9	83.7	78.6	90.0	85.6	
3		まとまりのある英文の概要理解	65.0	53.0	53.0	52.9	45.0	39.8	52.6	46.3	
4	(1)	適切なbe動詞の記入	60.0	78.7	78.7	78.3	68.5	60.0	75.2	74.1	
	(2)	三人称・単数・現在形の一般動詞の記入	50.0	41.8	41.8	42.0	41.0	32.0	63.5	37.3	
	(3)	現在進行形の文の適切な一般動詞の記入	75.0	63.3	63.7	57.2	53.9	46.8	68.3	53.1	
	(4)	一般動詞・過去形の否定文の語句記入	50.0	43.0	43.4	36.2	40.9	34.4	56.5	38.7	
	(5)	三人称・単数・現在形の疑問文の語句記入	50.0	48.4	48.8	42.0	39.0	41.2	38.7	36.8	
5	(1)	まとまりのある英文の詳細理解	80.0	93.7	93.8	92.0	91.2	88.2	93.9	92.9	
	(2)	まとまりのある英文の詳細理解	70.0	85.6	85.5	87.0	80.6	77.4	86.5	80.7	
	(3)	まとまりのある英文の詳細理解	60.0	84.0	83.9	85.5	76.4	73.6	78.7	78.2	
	(4)	①	まとまりのある英文の要点理解	50.0	57.0	58.1	38.4	47.8	48.5	52.6	44.1
		②	まとまりのある英文の要点理解	60.0	77.1	76.8	81.9	75.0	71.3	79.1	76.6
6	(1)	対話文を読んでの詳細（内容）把握	70.0	72.1	72.8	60.9	67.0	64.7	68.3	68.9	
	(2)	対話文を読んでの詳細（内容）把握	60.0	51.0	51.2	47.1	40.7	35.5	46.1	43.3	
7	(1)	対話に合うWhat＋名詞の語順の文の完成	60.0	52.6	51.9	64.5	51.6	47.8	62.2	49.3	
	(2)	対話に合うWhereを用いた過去進行形の文の完成	60.0	79.6	79.5	81.2	75.8	68.5	83.0	79.8	
	(3)	対話に合う命令文の完成	60.0	43.8	43.5	47.8	40.3	35.1	49.6	40.6	
8	(1)	①	場面に合う適切な英文の選択	60.0	74.6	74.9	68.1	72.7	70.1	77.8	72.5
		②	場面に合う適切な英文の選択	60.0	56.2	56.3	53.6	45.6	44.0	56.5	40.6
	(2)	文と文の順序や相互の関連の理解	50.0	29.4	29.8	22.5	23.7	20.2	30.4	23.4	
9	(1)	場面に合うWhat timeを用いた疑問文の英作文	55.0	57.5	58.6	39.9	45.5	42.1	52.2	45.2	
	(2)	場面に合うWhenを用いた疑問文に対する応答文の英作文	55.0	17.8	17.6	19.6	10.8	7.3	20.9	8.4	
	(3)	場面に合うWhoseを用いた疑問文の英作文	55.0	38.3	39.1	25.4	32.2	24.5	47.8	31.3	
10		条件に合うまとまりのある英作文	30.0	45.2	45.2	44.2	30.9	23.5	37.8	35.1	
教科全体（全小問の総正答数÷全小問の総解答数）			59.7	61.1	61.3	57.6	55.6	51.2	63.0	56.0	

(単位：%)

	中 南 管 内				上 北 管 内			下 北 管 内		三 八 管 内		県全体			
	弘前市	黒石市	平川市	中・南郡	十和田市	三沢市	上北郡	むつ市	下北郡	八戸市	三戸郡				
64.3	65.4	63.2	63.5	60.6	70.7	77.4	66.1	67.6	65.5	67.1	59.4	64.3	65.0	61.7	66.7
34.9	37.2	31.0	26.2	35.8	37.8	41.0	40.9	33.5	36.3	38.2	28.9	42.0	43.2	37.7	39.3
64.0	64.2	63.9	60.3	66.5	66.6	74.7	69.7	58.2	68.5	69.6	64.1	59.0	59.1	58.7	64.1
81.3	79.8	85.6	80.2	85.0	89.0	92.1	88.4	86.7	74.1	74.5	72.7	82.3	81.9	83.9	83.5
76.5	77.8	75.5	68.3	79.1	83.8	86.1	84.3	81.6	73.3	76.0	63.3	75.8	75.4	77.1	78.9
80.5	81.5	74.0	82.5	80.7	89.0	91.6	91.3	85.7	82.9	82.8	83.6	82.7	83.2	80.7	83.6
46.2	47.8	46.9	40.9	42.5	53.3	52.4	53.5	54.0	49.1	50.5	43.8	51.2	51.5	50.1	50.2
70.7	71.2	67.5	77.4	64.6	75.4	77.7	73.3	74.7	66.5	66.1	68.0	54.2	54.5	53.0	68.8
30.2	30.6	30.7	26.6	30.7	42.7	50.6	39.3	38.0	40.0	39.4	42.2	27.0	25.6	32.0	35.8
56.6	58.2	49.8	56.7	55.9	59.6	62.5	63.0	55.4	70.6	72.1	64.8	71.6	71.8	70.7	62.9
30.8	30.9	31.8	27.4	32.7	39.0	43.7	38.3	35.6	48.9	49.9	45.3	35.9	35.4	37.6	38.3
39.7	41.0	40.1	36.1	36.2	45.4	47.7	48.3	42.0	41.1	39.4	47.7	32.3	32.7	30.9	40.9
90.4	90.2	92.8	87.7	91.7	91.8	91.3	94.1	90.9	90.7	90.3	92.2	91.3	91.8	89.4	91.7
81.1	81.9	80.1	79.0	80.3	83.0	87.4	83.5	79.1	79.7	79.1	82.0	81.7	82.8	77.8	82.5
80.2	79.6	78.7	83.7	81.5	81.2	82.6	82.3	79.4	80.8	80.9	80.5	82.3	82.7	80.5	81.4
49.9	50.0	44.0	55.6	49.6	53.2	53.6	56.0	51.2	65.0	64.9	65.6	57.8	58.0	56.9	54.7
73.5	74.4	72.6	73.0	70.9	75.3	77.6	78.1	72.0	72.4	71.5	75.8	71.9	71.5	73.2	74.3
68.3	70.1	62.1	66.7	67.7	69.8	74.7	68.6	66.5	64.4	66.5	56.3	67.2	67.8	64.9	68.8
43.1	43.0	48.7	39.3	41.3	47.1	47.7	46.8	46.8	44.1	44.6	42.2	49.7	50.1	48.3	47.1
40.3	40.3	41.5	41.3	37.8	55.2	66.7	50.9	48.1	50.2	52.8	40.6	34.7	31.9	44.7	45.9
73.0	72.7	73.6	72.6	74.0	75.1	84.9	72.8	68.3	71.2	73.9	60.9	69.1	69.7	66.7	74.1
32.3	33.5	28.5	32.5	30.7	38.8	44.4	37.0	35.2	50.4	54.4	35.2	35.2	34.7	37.0	38.6
68.6	67.9	65.7	71.0	72.4	75.0	79.9	73.5	71.8	76.9	77.0	76.6	75.9	76.3	74.6	73.8
49.6	52.4	39.4	46.0	50.4	53.3	58.5	51.9	49.7	57.2	56.9	58.6	50.1	50.4	49.0	51.9
25.1	25.4	27.1	22.6	24.4	28.8	33.5	25.7	26.5	26.7	27.3	24.2	24.7	25.0	23.4	26.6
47.2	48.8	40.1	44.8	49.6	53.5	60.3	52.4	48.5	47.5	47.4	47.7	52.6	53.0	51.0	51.8
8.1	8.6	9.7	7.1	4.7	14.2	20.3	11.3	10.7	18.7	19.1	17.2	12.6	13.9	7.7	13.3
26.0	29.3	25.3	23.0	13.4	39.0	44.1	41.4	33.5	50.7	53.8	39.1	38.0	38.0	37.7	36.0
28.9	28.4	33.6	28.6	26.8	30.2	34.3	28.8	27.6	36.6	37.6	32.8	27.7	26.7	31.1	33.3
53.8	54.6	52.5	52.4	53.0	59.2	63.4	59.0	55.8	58.6	59.4	55.5	55.2	55.3	54.8	57.2

ウ 内容・領域別結果の概要

内容・領域	問題数 (問)	通過率の高かった 問題	通過率の低かった 問題	各内容・領域 の通過率(%)	設定通過率 (%)
聞くこと	7	2(1)、2(2)、 2(3)	1(2)	66.6	64.3
読むこと	10	5(1)、5(2)、 5(3)、5(4)②、 8(1)①	6(2)、8(2)	65.3	62.0
書くこと	12	4(1)、7(2)	4(2)、4(4)、 7(3)、9(2)、9(3)	45.0	55.0

エ 評価の観点別結果の概要

評価の観点	問題数 (問)	通過率の高かった 問題	通過率の低かった 問題	各観点の 通過率(%)	設定通過率 (%)
外国語表現 の能力	7	7(2)	7(3)、9(2)、9(3)	41.9	53.6
外国語理解 の能力	17	2(1)、2(2)、 2(3)、5(1)、 5(2)、5(3)、 4(4)②、8(1)①	1(2)、6(2)、 8(2)	65.8	62.9
言語や文化 についての 知識・理解	5	4(1)	4(2)、4(4)	49.3	57.0

オ 個々の問題の主な誤答例とその原因

問題番号	通過率(%)	主な誤答例(無答を含む) (かっこ内の数字は、抽出した解答全体に占める誤答の割合・%であり、 調査全体の誤答の割合とは異なる)
1(2)	39.3	ウ(28.0)、エ(23.5)、ア(7.5)
4(2)	35.8	study(27.5)、is(11.0)、studys(2.0)、studied(2.0)、studying(1.5)
4(4)	38.3	was(31.5)、is(31.5)、does(4.0)、無答(3.5)、do(2.5)、were(2.5)
6(2)	47.1	ウエア(12.0)、エイウ(3.0)、ウエウ(2.5)
7(3)	38.6	Look at this picture please.(12.0)、This picture look at please. (4.0)、Look at please this picture.(3.0)
8(2)	26.6	オイエウカ(11.0)、オйкаエウ(4.0)、カオイエウ(3.0)
9(2)	13.3	無答(29.0)、「10月に」を表す適切な前置詞の間違い(14.0)、文構造の理 解不足・単語の羅列(8.0)
9(3)	36.0	無答(13.5)、whoseの綴り間違い(12.0)、疑問詞の誤用(6.0)、文構造 の理解不足・単語の羅列(4.0)

- ①(2)では、誤答の原因として、約5割の生徒がウカエを選んでおり、Whatで始まる質問文の聞き取り、質問文や選択肢の意味の解釈ができていないことによるものと考えられる。
- ④(2)では、誤答の原因として、studyと書く例が多いことから、3人称単数現在形の定着が十分ではないことが考えられる。(4)では、was、isの誤答が多く、does、doの誤答も見られ、一般動詞とbe動詞の区別や、助動詞doの時制に関する知識・理解が不十分であることが考えられる。
- ⑥(2)では、誤答の原因として、文脈を間違っ捉えていること、数字の綴りを理解していないことによるものと考えられる。
- ⑦(3)では、誤答の原因として、命令文の語順が定着していないとともに、pleaseが文頭に来る場合と、文尾に来る場合の表記の違いに関する理解及び定着が十分でないと考えられる。
- ⑧(2)では、誤答の原因として、文章中の代名詞の使い方に関する知識・理解や、時系列を意識して文章を読み進めることが十分でないことが考えられる。
- ⑨(2)では、誤答の原因として、月名の前に置く前置詞及び疑問詞で始まる疑問文への適切な応答文の文構造の知識・理解が不十分であることが考えられる。(3)では、疑問詞whoseを用いる疑問文の文構造の知識・理解が不十分であることが考えられる。

カ 今後の指導について

内容・領域別にみた課題としては、「読むこと」において、まとまりのある英文や対話文を読んで概要や要点を把握する力の向上が挙げられる。また、「書くこと」において内容的にまとまりのある一貫した文章を書く力の向上も大切である。

今後の指導においては、教科書の本文やまとまりのある英文の読み取りを、素早くかつ正確に行わせる必要がある。そのために、本文全体の内容を大まかに捉えたり段落ごとに並べ替えたりする活動や、Q&Aを活用して理解を深めさせる活動を取り入れたりして、生徒が英文を読む必然性のある場面を設定することが大切である。併せて、単元の終末では、ALTを活用してパフォーマンステストを行うなど、生徒の意欲付けや即興性の育成を図る指導の工夫が必要である。

指導例

内容理解を深めるための指導例 ～ALTとのパフォーマンステストを通して～

【指導の流れ】

- 1 単元の目標を自校版「CAN-DOリスト」で確認させ、本単元の学習の見通しをもたせる。



この単元のゴールは、本文の内容についてALTの〇〇先生とパフォーマンステストを行い、正確に、そして素早く答えることです。

- 2 全体の流れを大まかに把握させる。その後、段落ごとの内容をつかませる。さらに、音読練習をさせる。

- 学習活動①** 本文の内容に関する教師のイントロダクションを聞く。
- 学習活動②** 切り取られた各段落を、意味が通るように類推して並べ替える。
- 学習活動③** 内容理解のために、教科書本文の音読CD、青森県版英単語集IVや辞書を活用する。
- 学習活動④** ペアやグループを活用し、様々なバリエーションで音読活動を行う。

(※平成27年度学習状況調査実施報告書の指導例参照)

3 内容に関する質問文・解答文を作成させる。(読むこと、書くこと)



教科書の各ページのQ&Aを参考にし、本文の内容の大切な部分が答えになるようなオリジナルの質問を考えましょう。

ポイント

- ・質問文の数は、生徒の実態に応じて設定する。
- ・Yes/Noで答える文から疑問詞で始まる文となるように、スモールステップで作成させる。
- ・教科書にある質問文や教師の考えた質問文を補助的に提示し、参考にさせる。
- ・個人で考える時間を確保し、その後、ペア等になり協働的な活動をさせる。

学習活動

ペア等でお互いが作った質問文・解答文でQ&Aをする。

使用教材

TOTAL ENGLISH 2 Reading 2 Red Demon and Blue Demon



I'll ask you first. OK? Did Red Demon wanted to be friends with children?

Yes, he did. でも、wanted の ed は取れて、want になるよ。



Next I'll ask you.

What did Red Demon put in front of his house?



He put a board there.



ペア等で作成したQ&Aを、ワークシートに清書しよう。

ポイント

ALTとのパフォーマンステストに活用するため、質問文と解答文を「Q&Aリスト」としてまとめさせ、提出させる。

4 音読テストとQ&Aテストを行い、本文の内容をさらに正確に理解させる。



本文の発音と内容理解を確かめるパフォーマンステストを実施します。この単元のゴールですので、みなさん、がんばりましょう！

ポイント

- ・ALTとチームティーチングで実施する。
例えば、JTEが音読を担当し、ALTがQ&Aを担当するなど、役割分担をし、効率的・効果的に実施する。
- ・生徒に単元のゴールであることを認識させ、それぞれの学習活動がパフォーマンステストにつながり、最終的に評価することを伝える。

学習活動①

JTEの前で、自分が選んだページを音読する。



I'm going to read page 93. "One day, Blue Demon came to ~~~. ~~~ Then, they went down to the village."

OK. Good Job! You read very clearly!
Next, go to ALT and answer the questions. Good luck.



特に、毎年課題に挙げられる「書く力」の向上のためには、小学校から慣れ親しんだ語彙・表現だけでなく、中学校においてこれまで学習したものについての定着が必要である。複数単元のまとめの段階で、発展的な活動として書く活動を設定したり、定期テストにおいてまとまりのある英文を書かせる問題を設定したりすることはもちろん、今後は、授業において生徒が教科書を通じて学習した語彙や表現を実際のコミュニケーション場面において使用する機会を意図的に設定する必要がある。

指導例

教科書を活用したストーリー・リテリングの指導

【指導の流れ】

1 単元の目標を確認させ、本単元の学習内容や活動に見通しをもたせる。

使用教材 TOTAL ENGLISH 2 Lesson 8 Manga, Anime and Movies

青森県版「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標

到達目標	学習活動	評価
1. 単元の目標を確認し、本単元の学習内容や活動に見通しをもたせる。	教科書の学習到達目標を確認し、本単元の学習内容や活動に見通しをもたせる。	教科書の学習到達目標を確認し、本単元の学習内容や活動に見通しをもたせる。
2. 言語活動や教科書の音読を通して、教科書本文の内容を把握させる。	教師のモデルスピーチを聞く。	教科書の音読を通して、教科書本文の内容を把握させる。
3. 教科書の音読からストーリー・リテリングにつなげる。	教科書本文の音読をする。	教科書の音読からストーリー・リテリングにつなげる。

この単元では、日本発の文化について英語で説明することができるようになることが目標です。「CAN-DOリスト」では、「話すこと」2-①に当たります。単元の終わりにはALTに説明できるようにしましょう。



ポイント

単元の目標を示したり、ALTに日本発の文化について英語で説明する場面を見せたりすることにより、毎時間の学習や言語活動に対する目的と必然性をもたせる。また、他者へ伝えるという相手意識をもたせる。

2 言語活動や教科書の音読を通して、教科書本文の内容を把握させる。

学習活動① 教師のモデルスピーチを聞く。

ポイント

モデルスピーチ（本レッスン全体の口頭説明）を見せて、ゴールの具体の姿を確認させる。

学習活動② 新出語彙を確認し、発音練習等をする。

学習活動③ 教科書本文の内容を把握する。

ポイント

教科書本文の内容理解からストーリー・リテリングにつなげるため、本指導例で示しているような、段階的な指導を行う。すべての生徒が取り組むことができるような活動を設定し、特に英語を苦手としている生徒には、語彙などの学習の基礎を定着させながら達成感をもたせ、発表への意欲を高める。また、英語が得意で、学習が進んでいる生徒には、より高い目標を設定させた上で活動させる。

3 教科書の音読からストーリー・リテリングにつなげる。

学習活動① 教科書本文の音読をする。

ポイント

ストーリー・リテリングをさせるため、様々な方法で英文を音読させ、理解した内容を効率的に内在化させる。

学習活動② Read & Look Upに取り組む。

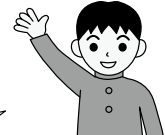
学習活動③ ストーリー・リテリングに向けて、教師と内容について対話しながら、ワークシートにキーワードを記入する。



Who did Seema get an e-mail from?

Tell me about her.

Manon.



She's Seema's French friend.

【キーワード例】 ・ Manon / Seema - friends ・ as old as Seema ・ manga and anime ・ e-mail

学習活動④ 個人練習を経て、ペアで教科書本文の内容を交互に説明する。ペアを替えながら説明する練習を繰り返す。



I go first. Seema has a French friend. Manon is as old as Seema. Manon loves manga and anime very much. She sent Seema an e-mail. Thank you for listening.

【練習例】 ・ ワークシートを見ながら説明。
・ キーワードの部分隠して、絵を見ながら説明。 ・ 何も見ずに説明。

学習活動⑤ グループ内発表会を行い、発表終了後に、グループ内でコメントを伝え合う。



簡単な言葉に置き換えて言っていたのがよかったわ。

絵に合わせた内容で話せていたのがよかったよ。



ポイント

- ・ グループ活動を通して、学習者同士で相互確認を行い、理解を深めさせる。仲間からの肯定的なコメントは意欲を高めるのに効果的であることから、コメントで使うことができる英語の表現を継続的な指導を通して身に付けさせる。
- ・ ストーリー・リテリングの指導においては、一単元の学習を通じて、一人一回必ず全体の前で行わせる。授業の終末における時間確保が難しい場合は、次時の最初に復習として生徒にストーリー・リテリングを行わせる。
- ・ 自分が話した英文を書かせることにより、学習した基本的な語彙、表現及び文法事項の理解を深めさせる。
- ・ ストーリー・リテリングができる力を生徒に付けるために、段階的な指導を行う。第1学年の1学期から以下のような活動を繰り返し行わせることで、生徒に即興的に英語で話す力を高めさせる。

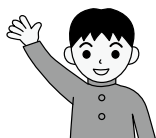
・絵やキーワードを提示して、既習の教科書本文を再生させる活動

【使用教材】 TOTAL ENGLISH 1 Lesson 5 Ms. Allen's Family



【キーワード】

- | | |
|------------------------------------|----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> have | <input type="checkbox"/> some |
| <input type="checkbox"/> family | <input type="checkbox"/> work(s) |
| <input type="checkbox"/> teach(es) | <input type="checkbox"/> library |



Hello. This is Ms. Allen. She has three pictures of her family. This is her father. He works in a library. This is her mother. She teaches science at a high school. Thank you for listening.

※AccuracyよりもFluencyに焦点を当て、学年が上がるにつれて自由度を上げましょう。

【参考資料】

- 1 教授用資料 アクティブ・ラーニング「主体的・対話的で深い学び」に向けて
中学校英語（学校図書）
- 2 TOTAL ENGLISH 1、2（学校図書）

キ まとめ

内容・領域についての学習状況は、「聞くこと」及び「読むこと」の一部の領域においては、概ね良好である。しかし、「書くこと」の領域では、「対話に合う応答文を書くこと」や「指示・条件に従って、まとまりのある英文を考え、書くこと」において、必要な文構造や語法の理解が十分とは言えない。

今後、「書くこと」の指導においては、まず毎時間、短時間であっても英文を書かせる時間を確保することから始めたい。それぞれの技能をバランスよく指導する視点から年間指導計画を見直し、書く活動を意図的に計画の中に取り入れることが重要である。生徒が書いた英文を教師やALTが読んだり、生徒同士で読み合ったりし、読んだ感想を書かせることで、生徒が読み手を意識して英文を書くようにする授業を行うようにしたい。その上でよい英文の例や共通して見られる間違いを全体に示して、全体の英作文の力を高める必要がある。「書くこと」は「聞くこと」「読むこと」「話すこと」の知識・理解があって初めて成立するものであり、指導例でも示したとおり、「読むこと」から「書くこと」へつなげたり、「話すこと」から「書くこと」へ展開させたりすることが大変有効である。こうした言語習得の順序を意識した技能統合型の授業を行うようにしたい。この他、自校版「CAN-DOリスト」を教師と生徒とで共有したり、単元の終末に、エッセー等でのパフォーマンステストを実施したりすることも、生徒の英文を書く力を高めることにつながる。